



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業  
推進校実践報告書

- 1 学校名：広島県立世羅高等学校
- 2 実施日時：2017（平成 29）年 1 月 24 日（火）
- 3 対象：全校生徒（354 名）
- 4 派遣オリンピック：大山加奈さん（バレーボール：アテネオリンピック出場）
- 5 授業内容：講演・実技

2017（平成 29）年 1 月 24 日（火）に広島県立世羅高等学校にて、バレーボールでアテネオリンピックに出場された大山加奈さんが、全校生徒 354 名を対象に、「スポーツから学んだこと」というテーマでご講演されました。

187cm という恵まれた体格の大山さんですが、幼少期は喘息を患っていたため、ずっと家にこもって本を読んだり絵を描いたりする日々を送っていたそうです。しかし、バレーボールと出会ってから次第に喘息も治り、一緒に遊ぶ仲間という大きな存在もでき、バレーボールが心身ともに強くしてくれたとお話されました。小学校・中学校・高等学校のいずれにおいても優勝経験があるという輝かしい経歴をお持ちの一方で、アテネオリンピック出場後は腰の怪我に苦しめられ、練習はおろか日常生活にも支障をきたす状態が長く続き、多くの挫折も経験したそうです。しかし、苦しいときにチームの仲間が声をかけ続けてくれたおかげで、困難にも立ち向かい怪我を乗り越え、再びコートに立つことができました。仲間の存在は非常に大きく、高校生のみなさんも仲間を思いやれるように、そして仲間のために頑張れる人になってくださいとメッセージをいただきました。

実技では、女子バレー部 14 名とともにサーブやレシーブを披露していただきました。また、強いチームは特別な練習をしているのではなく、誰にでもできる練習を、手を抜かず丁寧にやっているのだというアドバイスもしていただきました。

生徒の事後アンケートでは、「スポーツは勝つことが全てではなく、努力することやチームワークなど様々なことも学ばせてくれるものだった」「自分も周りから応援されるような人になりたい」という感想が多く見られ、部活動だけでなく自身の考え方や生活面なども改善しようとする生徒が多くみられました。また、「自分も怪我の経験があるので大山さんの辛さがよく分かるし、長い時間がかかっても怪我を乗り越えた努力の過程は本当に尊敬する。」といったコメントも多くみられ、困難に直面したときも直向きに努力し続けた大山さんの姿勢は、多くの生徒の心に残ったようでした。

## 6 授業の様子



講演の様子（全ての生徒が熱心に講演を聴いていました。）



質疑応答の様子



実技の様子



花束贈呈



謝辞



集合写真



女子バレー部員との記念撮影